

第3学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価					言語活動	
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語		評価規準
4月	1	様子や気持ちが伝わるように音読しよう	すいせんのラッパ	・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、音読する。	5	13	○			○	○	【関】場面の様子や人物の気持ちを想像しながら楽しんで音読しようとしている。 【読】場面の様子が伝わるように、読む速さや声の大きさ・高さに注意して音読している。 【言】修飾と被修飾との関係など、文の構成について理解している。	内容や場面の様子がよく分かるように音読する。☆
			本にしたしもう	・読んだ本の情報を記録したり、感想を書いたりする。	1		○				【関】読書記録を活用したり、お気に入りの本を紹介したりしようとしている。	紹介したい本を取り上げて説明する。 C(2)エ	
			自分をしようかいしよう	・いくつかの観点から、書くための材料を探す。	4		○		○		【関】友達に自分のことを伝えるために、自己紹介の文章を書こうとしている。 【書】紹介文に書く事柄を集め、事柄を選んで書いている。	相手に知ってもらいたいことを決め、自己紹介文を書く。☆	
			国語じてんの使い方を知ろう	・国語辞典の仕組みや使い方を理解する。	3		○			○	【関】国語辞典の必要性に気付き、活用しようとしている。 【言】国語辞典の仕組みと使い方を理解している。		
5月	2	だん落に気をつけて読もう	自然のかくし絵	・段落ごとに内容をとらえながら読み取る。	6	16	○			○	○	【関】昆虫の生態に興味を持ち、進んで内容をまとめたり感想を出したりしようとしている。 【読】段落ごとに大事な言葉や文に気をつけながら読み、書かれている事柄を正確に読み取っている。 【言】接続語や指示語など、語句には役割があることを理解している。	中心となる語や文をとらえて、段落ごとに書かれている内容を読み取る。☆
			えらんだ理由を話そう	・考えと理由を明確にして、整理して話す。	3		○	○			【関】考えと理由を、聞く人に分かりやすく伝えようとしている。 【話聞】選んだものとその理由がはっきり伝わるように、理由を表す言葉を使って整理して話している。	理由を挙げて、相手に分かるように話す。☆	

1 学期	6 月	3 物語のあらすじをとらえよう	かんさつしたことを書こう	・観察して気づいたことを、事柄ごとに整理して書く。	4	○				【関】生活の中で観察して気付いたことを文章に書こうとしている。 【書】観察して気づいたことを、まとめごとに整理し、段落の役割を意識して文章に書いている。	観察したことをことごとくに整理し、段落を意識して書く。☆		
			形のかわる言葉に気をつけよう 漢字の練習	・言葉の類別について知り、動詞や形容詞、形容動詞の活用について理解する。	3	○			○	【関】言葉の類別や活用する言葉に興味をもち、言葉の活用を理解しようとしている。 【言】言葉の類別について知り、動詞や形容詞、形容動詞などが活用することを理解している。			
			ゆうすげ村の小さな旅館	・場面の移り変わりに気をつけて読み、あらすじをまとめる。 ≪単元の評価規準≫ 【関】ふしぎな物語を読むことに興味をもち、しかけを楽しんであらすじをまとめる活動に取り組もうとしている。 【読】 ・場面の移り変わりに注意し、物語のおもしろさを味わいながら読んでいる。 ・場面ごとの出来事を整理して内容の大体を読み取り、叙述を基にあらすじをまとめている。 【言】文と文とのつながりを考えながら、指示語や接続語を使ってあらすじを書いている。	9	○						物語に興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。	登場人物の気持ちの変化や情景などを想像して読む。☆
												時を表す言葉を手がかりに場面を分け、登場人物を考える中で、美月がウサギだということに気付いている。	場面ごとに大事なところをおさえ、内容が分かるように物語を「あらすじブック」にまとめ、家族に紹介する。
												第一・二場面の出来事を読み取り、場面を一、二文にまとめている。	
												第三場面の出来事を読み取り、場面を一、二文にまとめている。	
												第四・五場面の出来事を読み取り、場面を一、二文にまとめている。	
												第六・七場面の出来事を読み取り、場面を一、二文にまとめている。	
												【読】場面の移り変わりをとらえ、だいたいの出来事を落とさずに、あらすじをまとめている。 【言】文と文とのつながりを考えながら、指示語や接続語を使ってあらすじを書いている。 【読】あらすじを書くときに大切なことに気をつけて、友だちが書いたあらすじを読み、助言している。	
			話を聞いてメモをとろう	・話の大事なことを聞き取って、メモに取る。	3	○	○			【関】話の中の大事なところはどこかを考えながら、注意深く聞こうとしている。 【話聞】話の中から大事なことを聞き分けている。箇条書きを使い、大事なことを短い言葉でメモに取っている。	大事なことを聞き分けて、メモをとる。☆		

15

			漢字の組み立てと意味を考えよう 漢字の練習	・共通する部分を持つ漢字があり、それらが意味の上でも共通性を持つことを理解する。	3		○					○	【関】漢字の組み立てに興味をもち、漢字の部首について知ろうとしている。 【言】共通する部分を持つ漢字があることを知り、代表的な部首の種類と、部首と漢字の表す意味の関係について理解している。	
			「ほけんだより」を読みくらべよう	・事柄の取りあげ方や、説明の仕方を読み取る。	8		○					○	【関】二つの文章を読み比べ、進んで事柄の取りあげ方や説明の仕方の違いを見つけようとしている。 【読】意図が同じでも、事柄の取りあげ方や説明の仕方に違いがあることを読み取っている。 【言】表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。	二つの文章を読み比べて、より分かりやすい説明になっている文を見つけ、その理由を考える。☆
	7月	4 書く人のくふうを考えよう	心にのこったことを書こう	・伝えたいことの中心を考え、書く材料を選んで書く。	9	23	○					○	【関】強く心に残ったことを思い出し、紹介する文章を書こうとしている。 【書】伝えたいことの中心を明確にして書くことを選び、文章を書いている。 【言】句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な個所は行を改めて書いている。	強く心に残ったことを、中心をはっきりさせて書く。☆
慣用句を使ってみよう 漢字の練習			・慣用句について知り、慣用句を使った短文を書く。	4	○					○	【関】慣用句に関心をもち、意味などを調べて使おうとしている。 【言】慣用句について知り、意味や使い方を理解するとともに、自分の表現で使っている。			
本はともだち			・読書への関心を高め、多様な本を読む。	2	○					○	【関】自分の興味にあった本を探し、本を読もうとしている。 【読】読書案内や図書紹介を利用し、自分が読みたい本を選んで読んでいる。	「三年生の本だな」や「きっとある君の心に残る本」を利用し、自分が読みたい本を選んで読む。☆		
紙ひこうき 夕日がせなかをおしてくる			・場面の様子や人物の気持ちを思い浮かべながら、詩を声に出して読む。	2	○					○	【関】詩を声に出して読み、楽しもうとしている。 【読】詩の場面や様子にふさわしい読み方を工夫している。	情景や人物の気持ちを想像して、それにふさわしい読み方を工夫する。☆		
			話したいな、夏休みの出来事	・順序よく筋道を立てて話す。自分と比べながら聞く。	6		○	○					【関】経験したことを順序よく話したり、質問したいことを考えながら興味をもって聞いたりしようとしている。 【話聞】伝えたい内容を順序よく整理して話している。話の中心に気をつけながら聞いている。	出来事の説明をする。A(2)ア

〇月	詩を読もう	案内の手紙を書こう	・案内するときに大事なことを落とさないように書く。	4	16	○					【関】伝えたい相手を選び、学校やクラスの行事について、案内する手紙を書こうとしている。 【書】伝えたい相手のことを考え、案内するときに大事な事柄を落とさずに文章を書いている。	目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書く。B(2)エ
	ローマ字漢字の練習	・ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書く。	4	○					○	【関】ローマ字に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。 【言】ローマ字の表記方法を理解し、ローマ字で書かれた単語を読んだり、ローマ字で単語を書いたりしている。		
10月	1 人物の気持ちを考えながら読もう	サーカスのライオン	<p>・物語の中心となる人物の気持ちの変化を考えながら読む。</p> <p>《単元の評価規準》 【関】物語に興味をもち、人物の気持ちの変化を考えながら読もうとしている。 【読】 ・人物の気持ちを場面ごとに読み取り、全体を通して気持ちがどのように変化したのかを読み取っている。 ・物語の一番印象に残ったところや人物の行動に着目して読み、物語の感想を書くことができる。 【言】当該学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。</p>	11	22	○				○	【関】物語に興味をもち、人物の気持ちの変化を考えながら読もうとしている。 【言】新出漢字を正しく読んでいる。	物語や詩を読み、感想を述べ合う。 C(2)ア
										○	叙述を基に、サーカスの中で過ごしてきたじんざの境遇や気持ちを読み取っている。	「サーカスのライオン」を一文でまとめ、友だちと交流する。
										○	叙述を基に、男の子と出会ったじんざの気持ちの変化を読み取っている。	
										○	叙述を基に、男の子との交流を通したじんざの気持ちの高まりを読み取っている。	
										○	じんざの行動を基に、火事に立ち向かうじんざの気持ちを想像している。	
										○	読み取ったことを基に、じんざの気持ちの変化について考えている。	
										○	じんざのいないサーカスの様子やライオン使用のおじさんとお客の気持ちを想像しながら読んでいる。	
										○	物語を読んで考えたことを伝え合い、一人一人の感じ方違いがあるとき気付いている。	

12月	3 調べたことを整理して書こう	研究レポートを書こう	・知りたいことについて調べ、調べたことを整理して文章に書く。	12	15	○	○	○	○	【関】疑問に思ったこと、知りたいことについて調べ、レポートにまとめようとしている。 【書】調べた事柄を整理し、文章の組み立てを考えてレポートの形式に書いている。	疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書く。B(2)イ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。B(2)ウ
		様子をくわしく表そう 漢字の練習	・修飾語を含む文の特徴を知り、様子を詳しく書き表す工夫をする。	3		○	○	○	○	【関】様子を詳しく表す言葉について関心を持ち、知ろうとしている。 【言】修飾語の使い方や文の中での働きについて理解している。	
12月	4 世界の民話を読もう	木かげにごろり	<p>・世界の民話を読んで、民話のおもしろさを味わう。</p> <p>《単元の評価規準》 【関】民話に関心を持ち、そのおもしろさを感じ取るとともに、世界の民話を楽しんで読み、紹介カードで友だちにそのおもしろさを伝えようとしている。 【読】 ・民話のおもしろさを紹介するために、場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動や会話から、性格や気持ちの変化をとらえて読んでいる。 ・紹介カードで友だちに民話のおもしろさを伝えるために、世界の民話を選んで読んでいる。 【言】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、紹介カードにあらすじやおもしろさをまとめている。</p>	10	20	○				民話に興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。	物語や詩を読み、感想を述べ合う。C(2)ア 紹介したい本を取り上げて説明する。C(2)エ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む。C(2)オ 自分が選んだ世界の民話のおもしろさを紹介カードで友だちに伝える。
									○	地主とお百姓たちの関係を理解し、お百姓たちが木かげを買い取ることになった経緯を読み取っている。	
									○	人物の状況の変化を木かげの伸びと関係付けてとらえ、民話のおもしろさを味わっている。	
									○	「木かげにごろり」のおもしろさについて自分の言葉でまとめている。	
									○	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、おもしろさが伝わるように紹介カードにまとめている。	
									○	これまでに読んだ世界の民話の中から、おもしろさを見つけながら、友だちに紹介したい民話を選んでいる。	
									○	場面の移り変わりや人物の気持ちの変化、性格に着目しておもしろさが伝わるように紹介カードにまとめている。	
									○		

3 学 期	1 月									○					おもしろかった民話を紹介したり、友だちの紹介を聞いて、感想を伝え合ったりして、新たな読書活動につなげようとしている。		
												○			民話のおもしろさを味わうために、いろいろな世界の民話を読んでいる。		
			俳句に親しもう	・俳句を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。	5						○					【関】俳句について知り、五音と七音の組み合わせによるリズムに親しもうとしている。 【言】言葉の響きやリズムを感じ取りながら俳句を音読し、情景を思い浮かべている。	
			くらべて分かったことを書こう	・同じところと違うところを整理して文章を書く。	5						○		○			【関】二つの物を比べて、同じところと違うところを整理して文章に書こうとしている。 【書】比べて分かったことを整理して、文章に書いている。	収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。B(2)ウ
		5 調べたことを整理して発表しよう	わたしたちの町の行事をしようかいしよう	・調べたことを整理して、わかりやすく説明する。	12	15	○	○							【関】身近な行事について調べたことを分かりやすく説明しようとしている。 【話聞】調べたことを整理し、事例を挙げたり資料を使ったりして話している。	図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする。 A(2)ウ	
		漢字の表す意味を考えよう 漢字の練習	・漢字が複数の意味を表すことを理解し、漢字の表す意味の違いについて整理する。	3						○				【関】漢字の表す意味に興味をもち、いろいろな意味について考えようとしている。 【言】複数の意味を表す漢字があることを知り、漢字の表す意味の違いを理解している。			

771	2月	6 世界の家のつくりについて考えよう	人をつつむ形— 世界の家めぐり	・文章や絵から読み取ったことをもとに考える。	11	18	○			○	○	<p>【関】家のつくりに関心をもち、気候や暮らしとつなげて工夫されていることを考えたり、自分の知っていることをまとめたりしようとしている。</p> <p>【読】家のつくりと、気候や人々の暮らしを関係付けて読んでいる。</p> <p>【言】指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。</p>	世界の家のつくりやそこに住む人々の暮らしについて考える。☆ 自分が興味をもった世界の家を「世界の家カード」にまとめる。
	3月		「わたしの作品集」を作ろう 漢字の練習	・これまでに書いた文章を読み合い、1年間を振り返る。	7		○		○			<p>【関】自分や友達が書いた文章を読み、感想を文章に書こうとしている。</p> <p>【書】お互いの文章を読み合い、おもしろかったところや書き方のよいところなどを見つけて、文章に書いている。</p>	書いたものを発表し合い、お互いの良い所を見つけ合う。☆
		7 場面の様子を思いうかべながら声に出して読もう	手ぶくろを買いに	・読み取ったことをもとに音読発表をする。	11		11	○			○	○	<p>【関】物語を読み、読み取ったことを音読で表現しようとしている。</p> <p>【読】叙述をもとに、人物の気持ちの変化や情景を想像して読んでいる。</p> <p>【言】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。</p>